

複業人材活用による実証実験 最終報告会



新潟県津南町

TSUNAN-TOWN NIIGATA JAPAN

2023年8月29日



ゆき みず だいち
つなんまち

複業人材活用による実証実験 <概要>

目的

それぞれが持つ環境や資源、特長を活かしながら、民間複業人材の知見や才能、経験等を活用することで官民連携を促進し、津南町の事業運営の高度化を目指す。

アドバイザー

- ふるさと納税プロモーション推進アドバイザー はたけやま いちろう 様
- イベント企画・運営アドバイザー 石川 愛 様
- 人事評価制度設計アドバイザー 中島 篤 様

スケジュール



ふるさと納税プロモーション推進

1 抱えていた課題感

ふるさと納税の寄附額増と津南町のファンづくりを目指す中で、これを実現するための施策に関するノウハウがない。

当初目標

- ▶ マスタープランの策定
- ▶ 令和5年度（登用期間まで）の寄附額増に向けた施策の企画と実行
- ▶ アドバイザー登用期間終了後も継続的に行える施策の企画

活動スケジュール〈ふるさと納税プロモーションアドバイザー〉

	2023年 2月	3月	4月	5月	6月	7月
津南町に関する 情報共有	★	★				
施策のアイデア 出し		★	★			
具体的なプラン 策定			★	★		
施策実行					★	★

2 登用した複業人材

ふるさと納税プロモーションアドバイザー
はたけやま いちろう

- ▶ 札幌出身東京都在住
- ▶ 約30年、広告代理店のクリエイティブ／マーケティング領域でクリエイティブディレクターとして活動。
- ▶ 現在は、個人事務所「FreeMAN」を設立。『地域/地方を元気にするブランディング』をスローガンに、様々な自治体様や地方中小企業様等の広報/コミュニケーション上の課題解決に活動中。

3 実施した内容

| オンラインミーティング 10回

主な活動

- ▶ 活動の目標設定
「新規寄附者の獲得」と「リピーターの確保」
- ▶ SNSによる情報発信と寄附につながる導線の確立
- ▶ 体験型返礼品の開発



<3>STUDY:プロモーションの方向性整理-1

地縁の無い域外の人が
 特定の地域を応援したいという気持ち
 →選ばれる町/訪問したくなる町

地域に縁のある人が
 恩返しをしたいという感謝や貢献の思い
 →リピート納税したくなる

本来的には、返礼品の豪華さではなく、

寄附金の使い道や町の魅力づくりへの応援

返礼品の魅力

寄附金の使い道（ビジョン）

津南町の、観光資源など様々な魅力

メールでも進捗状況を共有しつつ進行

4 成果 (1)

◎ SNSによる情報発信_1

| インスタグラムのアカウント「#ワタシつなん」を開設

- ・「ふるさと納税の広報」ではなく、津南町を「応援する」という『ファンづくり』を目標に定期的に投稿。
- ・津南町のホームページ上にランディングページを作成し、SNSから寄附サイトへの導線を確認。
- ・寄附者に対してもSNSのアカウントについて発信し、リピーター確保へ。

■ランディングページ



■インスタグラム投稿コンテンツ



4 成果（1）

◎ SNSによる情報発信_2

｜ 「#ワタシつなん」ショートムービーをリリース

- ・「ふるさと納税の広報」ではなく、津南町を「応援する」というという『ファンづくり』を目標に定期的に投稿。
- ・『ファンづくり』に主眼を置き、YouTubeチャンネルでの配信及び動画の二次活用としてInstagramでのダイジェストショートムービー配信。



4 成果 (2)

◎ 体験型返礼品の開発

| モノではなくコトの返礼品を開発

- ・観光協会と協力し、夏季に実施の体験型返礼品について検討
- ・8月に「スイートコーン収穫体験チケット」を出品
- ・以後、体験型返礼品の検討



5 今後の主な課題

| インスタグラムの継続的な運用/情報発信

- インスタグラム投稿コンテンツの開発
- 適時、フォロワー拡大施策の展開
- インスタグラムコンテンツと他SNSの連携発信
- インスタグラムコンテンツとイベント等の連携

| さらなる体験型返礼品/ツーリズム返礼品の開発

イベント企画・運営



1 抱えていた課題感

令和5年12月1・2日、当町において米・食味分析鑑定コンクール：国際大会を開催（県内初開催）するにあたり、農業関係者以外の来町、来場に向けたイベント企画立案、参加促進などの必要性があった。

（依頼事項）
当初目標

- ▶ 米・食味分析鑑定コンクールに対するアドバイス
 - ・ 津南町と都市部（横浜）を双方理解しているメリットを活かして、農業者以外の一般消費者からも魅力ある（来町したくなる）大会の企画づくりへの参画、助言
 - ・ 特に、自身が子育て世代、女性であることの視点を活かした、母親世代や子どもたちから興味を持ってもらうような発信、イベント企画の提案

スケジュール
想定活動

	業務内容	大会準備(実行委員会等)
2月	第1回ミーティング	幹事会・おもてなし部会
3月	企画構想案作成	実行委員会
4月	↓	
5月	企画構想案の提案 	実行委員会
6月	企画構想実現に向けた関係者との調整	
7月	企画内容の確定 	
8月	成果発表会	実行委員会、プログラム完成

2 登用した複業人材

イベント企画・運営



- ▶株式会社tatorabi勤務
(建築関係)
- ▶神奈川県横浜市と津南町の2拠点生活
- ▶津南町移住サポーター
(R4.2.1~)
- ▶福祉施設や地域活動におけるイベント企画・運営の実務経験

イベント企画・運営アドバイザー
石川 愛 (いしかわ めぐみ)

3 実施した内容

対面打ち合わせ・部会出席等7回+メール打ち合わせ

日時	内容
R5.2.24	【第1回打ち合わせ】 ・石川アドバイザーが考えている助言、アイデア聞き取り
R5.2.27	【実行委員会企画部会・おもてなし部会 出席】 ・「おもてなしアンケートの実施結果・企画検討」への参画
R5.3.10	【第2回打ち合わせ】 ・石川アドバイザーの具体的な助言・提案聞き取り
R5.4.14	【第3回打ち合わせ】 ・石川アドバイザー提案項目に対する事務局の対応案説明
R5.5～6	【随時メール打ち合わせ】 ・「お米まんぷろプロジェクト」関係者との協力依頼調整など
R5.6.6	【実行委員会企画部会・おもてなし部会 出席】 ・「大会プログラム・イベント案、周知・PRなどの検討」への参画
R5.6.8	【第4回打ち合わせ】 ・「お米まんぷろプロジェクト」出演、ボランティア募集など意見交換
R5.6～7	【随時メール打ち合わせ】 ・「お米まんぷろプロジェクト」関係者との津南まつりPR出演調整など
R5.7.22	【津南まつり時PR活動】 ・PRブース及びお米まんぷろプロジェクトステージイベントへの参加

4 成果

- (1) 津南まつりへの米・食味コンクールPRブース設置
「お米マンプロジェクト実行委員会」様とのコラボレーション
【ブース】チラシ配布、米粉クッキープレゼント、コンクールPR用法被を着ての記念撮影など
【ステージイベント】食育ソングライター小竹一臣さん、民謡歌手池上朝子さん、ゆるキャラヒーローお米マンによる食育ソングやお米音頭、ダンス披露PR

お米マン プロジェクト

2017年から日本全国で、米消費・朝ごはん運動を中心に、食育ソングで楽しく食育の大切さを広げる活動を展開



4 成果

(2) 町内小学校と連携した周知・PR活動

町内3小学校（津南・芦ヶ崎・上郷）と連携し、小学生が学校田で米づくりを実践（田植え・稲刈りなど）、収穫したお米をコンクールに出品予定



4 成果

イベント企画・運営

(3) 一般町民や学生などの大会運営ボランティア参加

炊飯スタッフや大会運営サポートの活動について、「イベントサポーター」を6月中旬より募集。7月末時点で約70人参加申込。

「第二十五回 米食味分析鑑定コンクール国際大会」11月29日

イベントサポーター募集!

本年12月1日・2日に津南町で米・食味分析鑑定コンクールが開催されます。その際、イベントサポーターとして一緒に大会を盛り上げてくださる方を募集します。

開催日時 令和4年12月1日(金)・2日(土)
午会 開始は10時~13時30分

開催場所 ニューグリーンピア津南(津南町大字秋成1230番地)

開催内容 ①コンクールで審査されるお米の炊飯・配膳
②会場案内、駐車場案内、会場整理などのお補助

応募資格 →18歳以上で津南町及び近隣にお住まいの方または
勤務されている方
津南町立学校、津南町中等教育学校の生徒で保護者の
ご了解を得た方
※詳しくは募集要項を

応募方法 応募申込用紙の内容について、郵送、電話、FAX、持参
のいずれかで、津南町役場(津南町林業課)までお申し込み
ください。

応募期限 7月末 ※応募状況により開催を見送ることがあります

その他 ・ボランティア活動の一環となるため、報酬や交通費等
の支給はございません。活動中のけがに備え、ボ
ランティア保険に加入します。
*本大会に関する活動や経理は行いません。活動の場につ
いて写真や映像等の撮影を行うとともに、ホームページ
などの他の広報媒体や記録等に活用することがあり
ます。

【お申込み・お問い合わせ】
〒654-8524
兵庫県丹波郡津南町大字秋成581番地
米食味分析鑑定コンクール 国際大会のつなぐ実行委員会事務局
(津南町役場林業課)

TEL:029-765-3115 FAX:029-765-4625

アドバイザーからの提案・助言を踏まえた今後の予定

- ▶「お米マンプロジェクト実行委員会」様とのコラボレーションとして、12月2日（大会2日目）のステージイベントへの出演決定
- ▶町内小学校と連携し、学校田での取組などの活動成果を大会会場で展示PR予定
- ▶一般町民や学生などの大会運営ボランティアについて、事前説明会やリハーサルを経て、大会当日の運営参加

人事評価制度設計

1 抱えていた課題感

人事評価制度を導入しているが、評価が属人化し、ばらつきは中心傾向が生じている。また人事評価結果を待遇や職位の決定に十分に活用できておらず形骸化している。

当初目標

- ▶ 負荷をかけることなく適切な目標設定を行うことを可能にする。
- ▶ 評価スキルの平準化や適正評価を行い、納得感のある評価制度にする。
- ▶ 評価結果をより適正に活用する。

活動スケジュール〈人事評価アドバイザー〉

	2023年 2月	3月	4月	5月	6月	7月
マイルストーン	▼キックオフミーティング			▼中間報告会 ▼労組ヒアリング		▼幹部及び労組とのセッション
全体計画立案	★					
現状把握、課題抽出	★	★				
評価制度議論 ・制度検討 ・評価項目見直し ・評価結果の適正活用検討		★	★	★	★	★
運用検討・設計					★	★

2 登用した複業人材



人事評価制度設計アドバイザー 中島 篤 (なかしま あつし)

- ▶ 東京都在住
- ▶ 株式会社CAQNAL (カクナル) 代表取締役CEO
- ▶ 複数の業界・企業で現場・人事部長及びコンサルとして就業
- ▶ 東日本大震災を機に働き方改革に関心を持ち、フリーとして活動後、株式会社CAQNAL創業
- ▶ 現場経験を活かした組織診断、解決策を信条とし、既成概念に囚われない人事・DX・地方創生の支援を実施

3 実施した内容

| オンラインミーティング **11**回 + 対面ミーティング **1**回
 | メール等でも進捗状況を共有・確認しつつ進行

<p>2/9</p> <ul style="list-style-type: none"> ①キックオフMTG ②PJTの進め方の合意 ③コミュニケーション手段、体制の確認 	<p>2/22</p> <ul style="list-style-type: none"> ①現状ヒアリングの実施 ②フリーディスカッション 	<p>3/10</p> <ul style="list-style-type: none"> ①テーマ確認 ②会ごとのタスク確認 ③津南町体制の確認 	<p>3/27w</p> <ul style="list-style-type: none"> ①評価制度 議論第1回 ②中間報告会のアジェンダ壁打ち
<p>4/17w</p> <ul style="list-style-type: none"> ①評価制度 議論第2回 	<p>4/24w</p> <ul style="list-style-type: none"> ①評価制度 議論第3回 ②評価結果適正活用議論の準備 	<p>5/15w</p> <ul style="list-style-type: none"> ①中間報告会に向けての準備 ②評価制度・項目 (FIX) ③適正活用 議論第1回 	<p>5/29w</p> <ul style="list-style-type: none"> ①中間報告会at津南町 (仮) ②適正活用 議論第2回 ③現地視察 (運用実態の把握) ④包括ディスカッション
<p>6/12w</p> <ul style="list-style-type: none"> ①適正活用 議論第3回 (FIX) ②等級制度 議論第1回 ③運用周りの検証(面談フロー) 	<p>6/26w</p> <ul style="list-style-type: none"> ①評価軸、FMT方向性の合意 	<p>7/10w</p> <ul style="list-style-type: none"> ①適正活用に関するディスカッション (町幹部職員・労組役員) ②残課題の整理 ③ネクストメンバーの選定 	<p>7/24w</p> <ul style="list-style-type: none"> ①改訂版のFIX ②運用へのディスカッション ③最終報告会に向けての準備

4 成果

◎ 人事評価関連書式の見直し

| 人事評価関連書式の集約

「組織目標シート」「業績評価記録書」「能力評価記録書」の3種類の書式を統合

- 組織目標の達成のために、個人が何をするかを目標に落とし込みやすくする。
- 組織目標と個人の業務が連動しない場合でも「組織貢献」を意識した目標設定を可能とする。

| 業績・能力評価記録書の項目見直し

「業績評価記録書」と「能力評価記録書」の項目を見直し、書式をシンプル化

- 重複項目を排除することで書式をシンプル化し、評価者及び被評価者の運用負荷を軽減する。
- 将来的には電子化を目指す但、最低限、グループウェア上でデータ管理できることを目指す。

4 成果

◎ 人事評価フローの見直し

| 評価結果のフィードバックの実施

目標設定→中間面談→評価面談に加え、評価結果のフィードバックの実施までを原則としたフローに改善

- 評価結果に納得感を持たせる。
- 業務遂行において気を付けることや改善すべきことを伝えることにより、その職員の成長につながる。

◎ より適正な人事評価結果の活用

| 人事評価結果の適正活用

頑張った職員が適切に評価される、評価結果の適正活用

- 職員のモチベーションの向上にもつながる。
- 職員個人個人がより積極的に業務に取り組むことで、町行政の発展につながる。